令和元年度札幌医科大学医学部同窓会 講演会・総会・懇親会を顧みて

第46回札幌医科大学医学部同窓会の講演会・総会・懇親会は令和元年7月13日(土) に札幌プリンスホテル パミール館で開催されました. 今回は昨年同様に幹事会では資料配布を数枚に限定し、スライドによる説明としました. また昨年指摘のあったスライドが見えづらい部分は拡大して示すようにしました.

講演会では、39期の松野孝先生が総合司会を務め、荒木啓伸先生(49期)の座長で49期丸山玲緒先生(公益財団法人がん研究会 がん研究所 がんエピゲノムプロジェクトプロジェクトリーダー)から「がんの多様性を四次元で理解する~真のプレシジョン医療実現を目指して」と題する講演が、引き続き高橋聡先生(39期)の座長で39期高岡晃教先生(北海道大学遺伝子病制御研究所 分子生体防御分野 教授)「免疫学のオモシロさ」と題する講演が行われました。丸山先生の講演は札幌医大分子生物学講座時代から連綿と続けられていた epigenetics を癌研有明病院の豊富な臨床検体を用いて腫瘍の多様性の解析に導入し、個々の腫瘍により適切な治療法を見つけ出す観点で大変興味深いものでした。高岡先生はイントロが実家のお寺の話から始まり、自然免疫病原体認識受容体(Toll Like Receptor など)とそれに続くシグナル伝達系のやや難解なお話を、わかりやすいスライドで講演されました。特にラスト部分の先生自らが免疫細胞のゆるキャラに扮しての幼稚園出張公演や子供研究所 Kids Institute のお話は、好奇心旺盛な子供達に科学に対する将来の夢を与えるという大変素晴らしい CSR と思われました。お二人の益々のご発展を祈りたいと思います。

総会では、新たにご逝去が判明した31名の会員氏名が西里副会長により奉読され、ご 冥福を祈り全員で黙祷を捧げました.総会の議長は大里総務委員長が担当し、スライド を使用して幹事会にて協議された内容を報告しました(詳細はホームページ幹事会議事 録を参照ください).田中会長より39期奈良理先生(医療法人渓仁会手稲渓仁会病院 救急科 救命救急センター長 救急科主任部長)に社会福祉貢献賞が授与されました. 受賞理由は本道における救急医療、航空医療の発展、また災害医療におけるDMATの活 動など幅広く救急医療を実践してこられた実績によるものです.

その後全員で記念写真を撮影し、懇親会となりました.

懇親会では松野先生が進行係を務め、田中会長、塚本理事長・学長、から挨拶を戴いた後、西里副会長の乾杯の音頭で会が始まりました。会の中程で、社会福祉貢献賞を受賞された奈良先生からご挨拶とスライドにて日常の診療業務などのお話がありました。その後、千葉名誉教授、秋野元学長、今井元学長からスピーチを戴きました。最後の乾杯は遠藤副会長が務め、万歳三唱は39期の松野先生49期の今井先生の音頭で行われ、お開きとなりました。

今回の講演会/総会/懇親会の延べ参加者は約100名と、昨年に続き多数の人数で盛会裡に終了しました.

(記 遠藤 髙夫)